

建具金物

○扉の幅、握り玉、把手類は床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。

○オペレータ装置： 方式 ※押釦一斉解放順次閉鎖形 (○手動・電動) (押釦開放・ハンドル復帰型)

ワイヤー ※露出形 ○隠ぺい形  
 操作箱 ※露出形 ○隠ぺい形 (操作ハンドル共埋込フラット仕様)  
 ハンドルボックス  
 ○手動開放式装置 (隠蔽タイプ)  
 製造所 豊和「フレンド mini-L」 手動ハンドルボックス



○クレセントおよび排煙窓の操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。

◎建具金物は特記なき限り下表による。(付属金物一式)

方式	建具材質	支持方式及び金物	錠	その他金物
両開	共通	○丁番 (外部) ○ピボットヒンジ (内部)	シリンダーケースロック	フランス落し、アームストッパー戸当り ドアクローザ レバーハンドル
片開	共通	○丁番 (外部) ○ピボットヒンジ (内部)	シリンダーケースロック	戸当り、アームストッパー ドアクローザ レバーハンドル
引違	SD	上吊り	シリンダー錠錠	引手・戸車
	AD	下車・押出枠	シリンダー錠錠	引手・戸車
	WD	下車・9mm角レール	ねじ締り (中折)	引手・戸車
片引	SD	上吊り	シリンダー錠錠	引手・戸車
	AD	下車・押出枠	シリンダー錠錠	引手・戸車
	WD	下車・9mm角レール	シリンダー錠錠	引手・戸車
片引 引分け	HLD	※アキュライドレール	ロッド式	ドアハンドルA ドアハンドルB
	HSD	・戸車	サムターン付引錠 ○標準型 ・大型	(・標準 ○特記による) 自閉装置、閉鎖時緩衝装置 全開時ストッパー機構付 (防火仕様・特定防火仕様の場合、 煙感連動閉鎖式とする)

・練付化粧合板貼りの扉は全て、コンシールドアローザ (ストッパー付) とする。

・練付化粧合板貼りの扉は全て、連続丁番としL=7高さとする。

方式	建具材質	支持方式及び金物	錠	その他金物
常 閉	SD	※丁番	シリンダーケースロック	順位調整器 (枠内設置) 又はスプリング式召合せ  レバーハンドル、戸当り ドアクローザ (2ヶ)
	LD	○ピボットヒンジ		
常 開	SSD			レバーハンドル、戸当り ドアクローザ
	SD	中心吊ヒンジクローザ	順位調整器 又はスプリング式召合せ  掘込引手加工A (指定色焼付)、煙感開放金物	
折戸	SD	折戸金物一式 (特定防火設備用認定品)	掘込引手加工A (指定色焼付)、煙感開放金物	

方式	建具材質	支持方式及び金物	錠	その他金物	
窓	引違	SW	上吊り	クレセント	引手、戸車
	片引	AW	下車・押出枠	クレセント	引手、戸車
		WW	押出枠+木枠	クレセント	引手、戸車
	回転	共通		ラッチ	軸金物、ストッパー
	内倒	共通		ラッチ	フック棒
外倒	共通		ラッチ	オペレーター	
すべり出し	共通		カムラッチ	すべり出しアーム	
上げ下げ	共通	バランスワイヤー	クレセント	把手	
点検扉	両開・片開	SD	点検扉用ヒンジ	掘込引手加工B アームストッパー、フランス落し	
気密扉	両開・片開	共通		グレモン錠 グレモンハンドル	

略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
AD	アルミ製戸	LD	鋼製軽量戸	H	ふすま
AW	アルミ製窓	HLD	上吊り鋼製軽量引戸	P	紙障子
ACW	アルミ製カーテンウォール	LS	軽量シャッター	WD	木製戸
AG	アルミ製がらり	SSD	ステンレス製戸	WW	木製窓
S	鋼製三方枠	SSW	ステンレス製窓	FS	布製シャッター
SD	鋼製戸	SSG	ステンレス製がらり		
SW	鋼製窓	SSCW	ステンレス製カーテンウォール		
SCW	鋼製カーテンウォール	OHD	オーバーヘッドドア		
SG	鋼製がらり	NLD	気密性上吊り戸		
SS	重量シャッター				
SSS	ステンレスシャッター				

共通事項

○位置・開き勝手・防火戸等は平面図又は建具伏図による。

○寸法は枠内法寸法を示し、製作にあたっては再度現場調整とする。

○取付け位置・高さ、建具H.WIに関しても、EGP板等の割り付けにより再度現場調整とする。

○各種造作付属の建具は詳細図により、建具工事には含まない。

○AW (H=1,600以下) は中線なしとする。

○SDのうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。

○7mm引、7mm枠には全てダクト接続用アングル取付とする。  
(7mm枠部はAL-2.0t-20×40 (7mm枠面に固定))

○ダクト接続のがらりには四方枠 (st-tl.6 裏面加吹付 t.30) を付ける。

○シャッターのレール・まぐさはSUS304製とし、すべてSUS座板、危害防止装置付とする。

○シャッターは、躯体からの取付け部材共とする。

○防火シャッター (国土交通省告示 2563号通格品とする。)

○防火防煙シャッター (国土交通省告示 2564号通格品とする。)

○外部及び水かきり部の鋼製建具枠・扉については、足元H=150までアルミ製とし、扉同仕上とする。

○鋼製建具、鋼製軽量建具、及びステンレス建具の建具表面板は、下部折返し等腐食対応を施すこと。(枠四方巻き込み)

○外部鋼製建具の扉・枠回りは、クロロブレンゴム (四周) 設置し、気密性を確保とすること。

○外部に面するがらりには、ステンレス製防虫網 (平織1.6φ 12.7口) を設置のこと。

○外部扉の上枠はSUS水切付とする。

○自動ドア開閉装置には安全用光電管スイッチを取付のこと。

○自動ドア用センサーは特記のない場合、無目内蔵式とする。

○防火戸を除き、ドアクローザはすべてストッ付とする。取り付けは、原則として室内側とする。

○両開扉は、ドアクローザを2ヶ所取り付ける。

○壁穴区画に取り付く防火戸、シャッターは遮煙性能を有するものとする。

○扉に取り付く額窓、がらりはすべてフレームレスタイプとする。

○サッシ強度、ガラス厚さについては、「S46 建告第 109号」「H12 建告第 1458」または許容応力度法による計算書を提出し、現場係員の承諾を受けること。

○AWすべてに結露受け+水抜きを設けること。GWも同様とする。

○AWのアングルはすべて結露受けタイプとし、AWは全てアルミ水切付 (AWと同仕上) とする。

○たてすべり出し窓、開き窓は、すべて開口制限ストッパー付きとする。

○LD (鋼製軽量建具) は端部を曲げ加工品とする。(切物+金属エッジとしないこと。)

○AW, AP, AG, GW, には隠蔽、額縁、ブラインドボックスを設置する。特記なき限り、ブラインドボックスはSOP塗装、隠蔽、額縁は木製SOP塗装とし建築工事とする。(隠蔽、額縁: 25×壁からのチリ10%)

○ブラインドボックスは原則H120×H120とし、天井高とサッシ上端Hの差がある場合は、その差をH寸法に加える。その他特記事項はユニット工事による。

○建具を設置する部屋の内装仕上げが木化粧板等の壁に取り付けAWの隠蔽、額縁、ブラインドボックスは木製 (天然木練付) OLとする。

○AWのサッシ下端がFL+1200を超えるものについては、オペレータ装置: 手動開放装置 (隠蔽タイプ) 付とする。

○外部ALC板に取付く建具は、層間変位1/501に追従するように取付金具を考慮すること。

○外部扉はフロアヒンジの浅型・防水型とし、表面仕上は床同材貼りとする。

○電気錠取付け対応の、電気錠、電気錠に伴う制御盤、建具穴加工は建築工事とする。空配管は電気設備工事とする。カードリーダー錠も建築工事とする。

○ACW廻りの耐火ボード、目隠しボード、層間塞ぎは建築工事とする。

○特記外の外部AWの引き違い部、片引き部、突き出し部にはSUS鋼網戸を設けること。

○開き戸の枠当たり、引き戸のレール部または枠当たりには、加圧レール製の受け座を取り付ける。

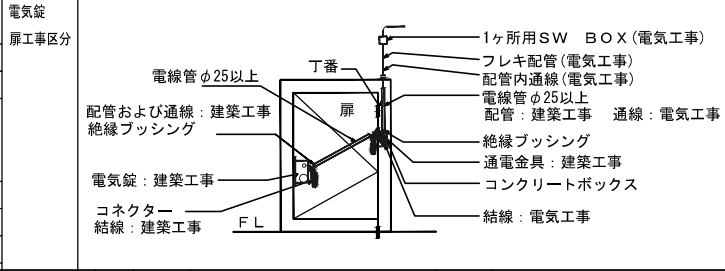
○外部に面する戸の丁番切り欠き部周囲には、不定形シリカを充填する。

○外部SDの扉下端は、ゴム製フラッシング付とし、外部からの水の浸水を防ぐこと。

○気密性建具の構造は次による。

- 1) 建具表にSAT、PATと示す建具は気密性がそれぞれJIS A 4706による気密性の等級A-3、A-4以上とし、遮音等級T-3とする。枠の四周にネオブレンゴム等の気密材を施す。気密材に接する戸の四周はステンレス (SUS304) とする。
- 2) PATとある場合には、上記に加え、把手はグレモンハンドル (3点締り) とし、扉内部には、GW: グラスウール (150kg/m<sup>3</sup>) を充填する。また、内部には分割材を入れる。
- 3) PAT以外の扉内GW (グラスウール) 充填は、80kg/m<sup>3</sup>とする。
- Low-Eガラスは高遮熱遮断型とする。
- SSWの特定防火設備は「パシフィックパシフィックF-BE」又は同等以上とする。
- 外部扉の内部サムターンには全てサムターンカバーを設置する。

- 仕上
- (1) SF、SD、LD、SSおよびSGの仕上げは特記以外は、外部建具はDP塗装 内部建具はSOPとする。DP塗装は耐候性塗料を示す。
  - (2) LDの召合せおよび縦小口包み板は (※ステンレス鋼板・鋼板) とする。
  - (3) 簡易気密形扉の気密材との取合い部はステンレス鋼板1.5mmとする。
  - (4) ドアがらりは、SDおよびLDは外部建具は、鋼板製DPとする。建物内部の場合はSOPとする。
  - (5) 天然木練付合板は小口とも同材同仕上。下地のラワン合板の目地部も塗装とする。
  - (6) A-B-Eはアクリル樹脂焼付塗装、F-B-Eはフッ素樹脂焼付塗装を示す。



略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス		
F	型板ガラス	SIG	防音複層ガラス		
NF	網入型板ガラス	HR	熱線反射ガラス		
WF	線入型板ガラス	HHR	高性能熱線反射ガラス		
NP	網入磨き板ガラス	DS	倍強度ガラス		
WP	線入磨き板ガラス	L	合わせガラス		
HAP	熱線吸収フロート板ガラス	PB	鉛ガラス		
HAMP	熱線吸収網入磨き板ガラス	GB	ガラスブロック		
HAWP	熱線吸収網入磨き板ガラス	FR	耐熱ガラス		
T	強化ガラス	Low-E	低放射金属膜コートガラス		

特	特定防火設備	番	符号	種類	1	3
防	法2条9号のロに規定する防火設備		SS	ステンレス製		
E	電気錠		S	鋼製		
S	煙感知器連動閉鎖式		B	黄銅製		
H	熱感知器連動閉鎖式		W	木製		
AT	気密性建具		TB	テラゾブロック製		
SAT	簡易気密性建具					

略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
A	片隠蔽	A		B	
B	両隠蔽			C	
C	常時開放			D	
D	一方三方枠				
1	見附幅25			1	
2	FB枠			2	
3	つぶし枠			3	
4	かくし枠			4	

略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
S	鋼製枠				
SS	SUS製枠				
A	アルミ製枠				
W	木製枠				
A	片隠蔽				
B	両隠蔽				
C	常時開放				
D	一方三方枠				
1	見附幅25				
2	FB枠				
3	つぶし枠				
4	かくし枠				

略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
S	鋼製枠				
SS	SUS製枠				
A	アルミ製枠				
W	木製枠				
A	片隠蔽				
B	両隠蔽				
C	常時開放				
D	一方三方枠				
1	見附幅25				
2	FB枠				
3	つぶし枠				
4	かくし枠				

略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
S	鋼製枠				
SS	SUS製枠				
A	アルミ製枠				
W	木製枠				
A	片隠蔽				
B	両隠蔽				
C	常時開放				
D	一方三方枠				
1	見附幅25				
2	FB枠				
3	つぶし枠				
4	かくし枠				

その他符号凡例

○位置・開き勝手・防火戸等は平面図又は建具伏図による。

○寸法は枠内法寸法を示し、製作にあたっては再度現場調整とする。

○取付け位置・高さ、建具H.WIに関しても、EGP板等の割り付けにより再度現場調整とする。

○各種造作付属の建具は詳細図により、建具工事には含まない。

○AW (H=1,600以下) は中線なしとする。

○SDのうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。

○7mm引、7mm枠には全てダクト接続用アングル取付とする。  
(7mm枠部はAL-2.0t-20×40 (7mm枠面に固定))

○ダクト接続のがらりには四方枠 (st-tl.6 裏面加吹付 t.30) を付ける。

○シャッターのレール・まぐさはSUS304製とし、すべてSUS座板、危害防止装置付とする。

○シャッターは、躯体からの取付け部材共とする。

○防火シャッター (国土交通省告示 2563号通格品とする。)

○防火防煙シャッター (国土交通省告示 2564号通格品とする。)

○外部及び水かきり部の鋼製建具枠・扉については、足元H=150までアルミ製とし、扉同仕上とする。

○鋼製建具、鋼製軽量建具、及びステンレス建具の建具表面板は、下部折返し等腐食対応を施すこと。(枠四方巻き込み)

○外部鋼製建具の扉・枠回りは、クロロブレンゴム (四周) 設置し、気密性を確保とすること。

○外部に面するがらりには、ステンレス製防虫網 (平織1.6φ 12.7口) を設置のこと。

○外部扉の上枠はSUS水切付とする。

○自動ドア開閉装置には安全用光電管スイッチを取付のこと。

○自動ドア用センサーは特記のない場合、無目内蔵式とする。

○防火戸を除き、ドアクローザはすべてストッ付とする。取り付けは、原則として室内側とする。

○両開扉は、ドアクローザを2ヶ所取り付ける。

○壁穴区画に取り付く防火戸、シャッターは遮煙性能を有するものとする。

○扉に取り付く額窓、がらりはすべてフレームレスタイプとする。

○サッシ強度、ガラス厚さについては、「S46 建告第 109号」「H12 建告第 1458」または許容応力度法による計算書を提出し、現場係員の承諾を受けること。

○AWすべてに結露受け+水抜きを設けること。GWも同様とする。

○AWのアングルはすべて結露受けタイプとし、AWは全てアルミ水切付 (AWと同仕上) とする。

○たてすべり出し窓、開き窓は、すべて開口制限ストッパー付きとする。

○LD (鋼製軽量建具) は端部を曲げ加工品とする。(切物+金属エッジとしないこと。)

○AW, AP, AG, GW, には隠蔽、額縁、ブラインドボックスを設置する。特記なき限り、ブラインドボックスはSOP塗装、隠蔽、額縁は木製SOP塗装とし建築工事とする。(隠蔽、額縁: 25×壁からのチリ10%)

○ブラインドボックスは原則H120×H120とし、天井高とサッシ上端Hの差がある場合は、その差をH寸法に加える。その他特記事項はユニット工事による。

○建具を設置する部屋の内装仕上げが木化粧板等の壁に取り付けAWの隠蔽、額縁、ブラインドボックスは木製 (天然木練付) OLとする。

○AWのサッシ下端がFL+1200を超えるものについては、オペレータ装置: 手動開放装置 (隠蔽タイプ) 付とする。

○外部ALC板に取付く建具は、層間変位1/501に追従するように取付金具を考慮すること。

○外部扉はフロアヒンジの浅型・防水型とし、表面仕上は床同材貼りとする。

○電気錠取付け対応の、電気錠、電気錠に伴う制御盤、建具穴加工は建築工事とする。空配管は電気設備工事とする。カードリーダー錠も建築工事とする。

○ACW廻りの耐火ボード、目隠しボード、層間塞ぎは建築工事とする。

○特記外の外部AWの引き違い部、片引き部、突き出し部にはSUS鋼網戸を設けること。

○開き戸の枠当たり、引き戸のレール部または枠当たりには、加圧レール製の受け座を取り付ける。

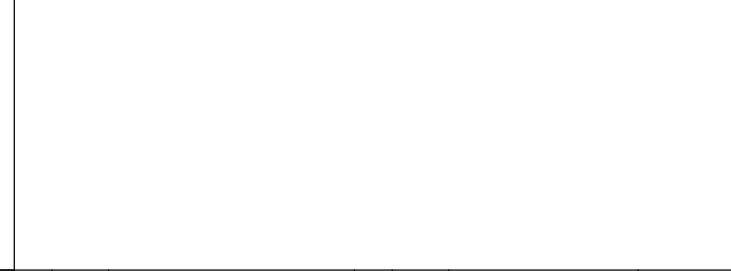
○外部に面する戸の丁番切り欠き部周囲には、不定形シリカを充填する。











○外部SDの扉下端は、ゴム製フラッシング付とし、外部からの水の浸水を防ぐこと。

○気密性建具の構造は次による。

- 1) 建具表にSAT、PATと示す建具は気密性がそれぞれJIS A 4706による気密性の等級A-3、A-4以上とし、遮音等級T-3とする。枠の四周にネオブレンゴム等の気密材を施す。気密材に接する戸の四周はステンレス (SUS304) とする。
- 2) PATとある場合には、上記に加え、把手はグレモンハンドル (3点締り) とし、扉内部には、GW: グラスウール (150kg/m<sup>3</sup>) を充填する。また、内部には分割材を入れる。
- 3) PAT以外の扉内GW (グラスウール) 充填は、80kg/m<sup>3</sup>とする。
- Low-Eガラスは高遮熱遮断型とする。
- SSWの特定防火設備は「パシフィックパシフィックF-BE」又は同等以上とする。
- 外部扉の内部サムターンには全てサムターンカバーを設置する。

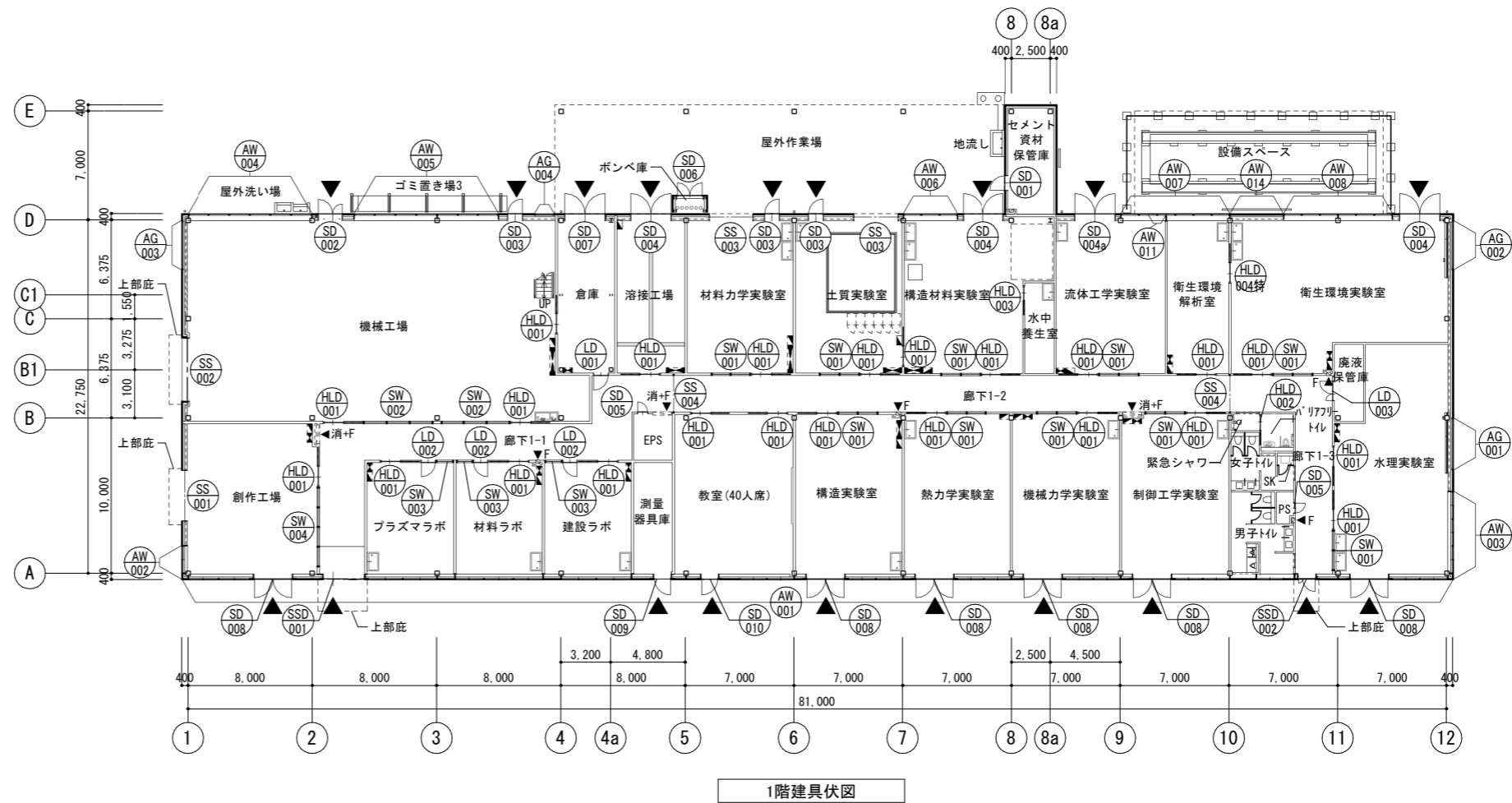
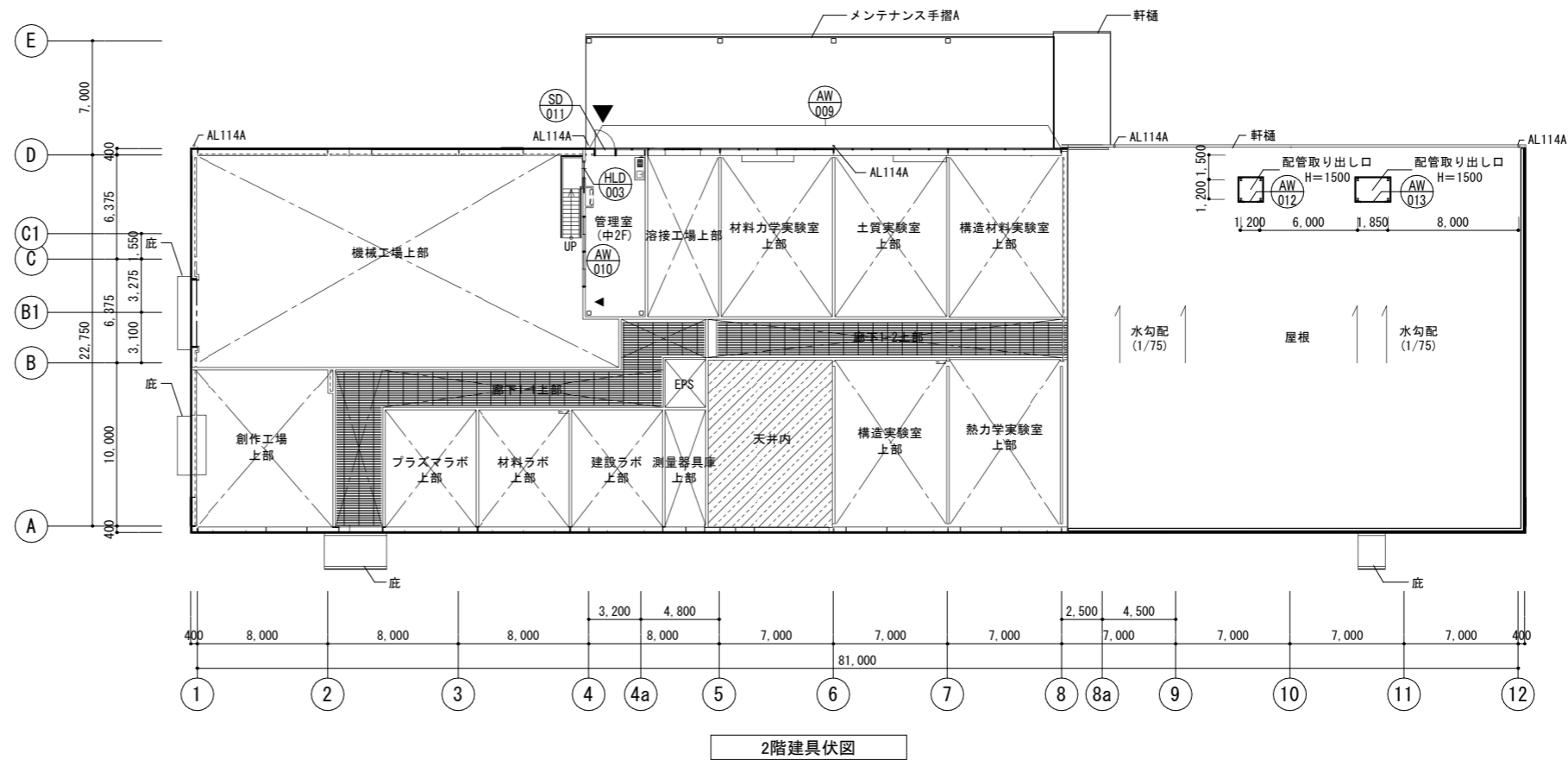
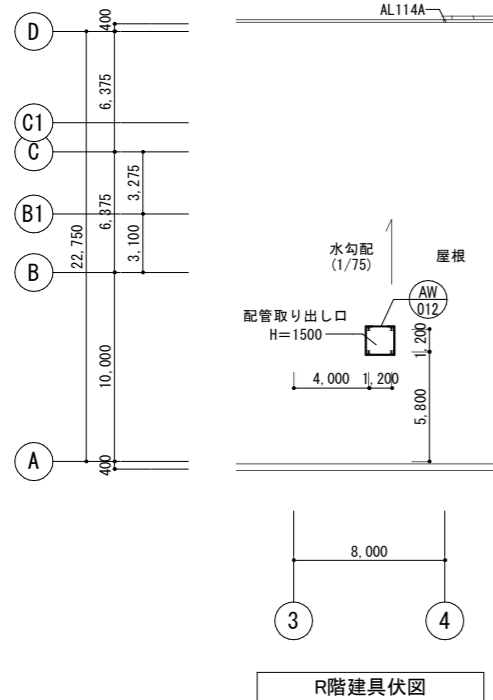
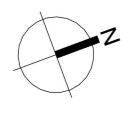
- 仕上
- (1) SF、SD、LD、SSおよびSGの仕上げは特記以外は、外部建具はDP塗装 内部建具はSOPとする。DP塗装は耐候性塗料を示す。
  - (2) LDの召合せおよび縦小口包み板は (※ステンレス鋼板・鋼板) とする。
  - (3) 簡易気密形扉の気密材との取合い部はステンレス鋼板1.5mmとする。
  - (4) ドアがらりは、SDおよびLDは外部建具は、鋼板製DPとする。建物内部の場合はSOPとする。
  - (5) 天然木練付合板は小口とも同材同仕上。下地のラワン合板の目地部も塗装とする。
  - (6) A-B-Eはアクリル樹脂焼付塗装、F-B-Eはフッ素樹脂焼付塗装を示す。



特	特定防火設備	番	符号	種類	1	3
防	法2条9号のロに規定する防火設備		SS	ステンレス製		
E	電気錠		S	鋼製		
S	煙感知器連動閉鎖式		B	黄銅製		
H	熱感知器連動閉鎖式		W	木製		
AT	気密性建具		TB	テラゾブロック製		
SAT	簡易気密性建具					

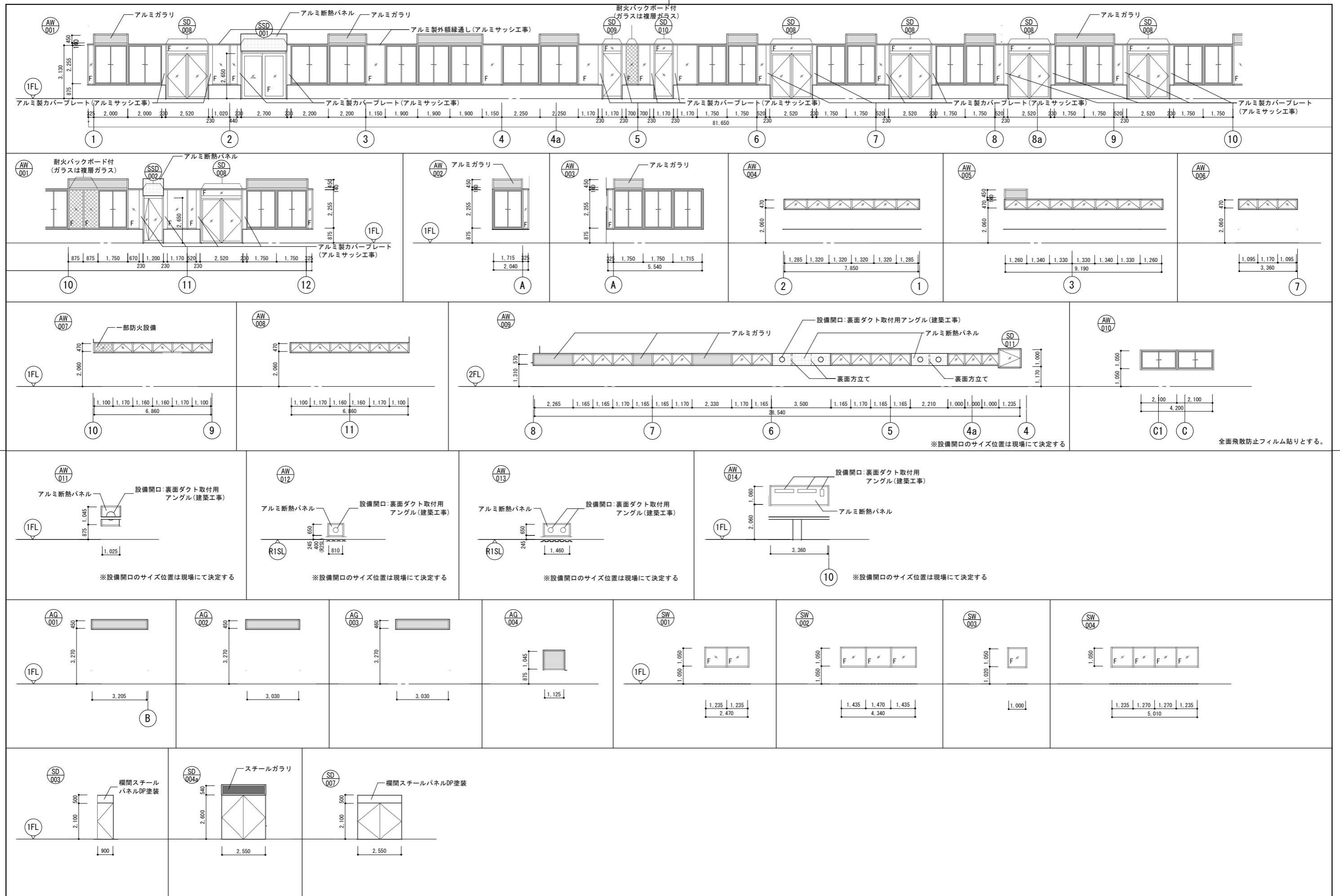
略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
A	片隠蔽	A		B	
B	両隠蔽			C	
C	常時開放			D	
D	一方三方枠				
1	見附幅25			1	
2	FB枠			2	
3	つぶし枠			3	
4	かくし枠			4	

略号	建具種別	略号	建具種別	略号	建具種別
S	鋼製枠				
SS	SUS製枠				
A	アルミ製枠				
W	木製枠				

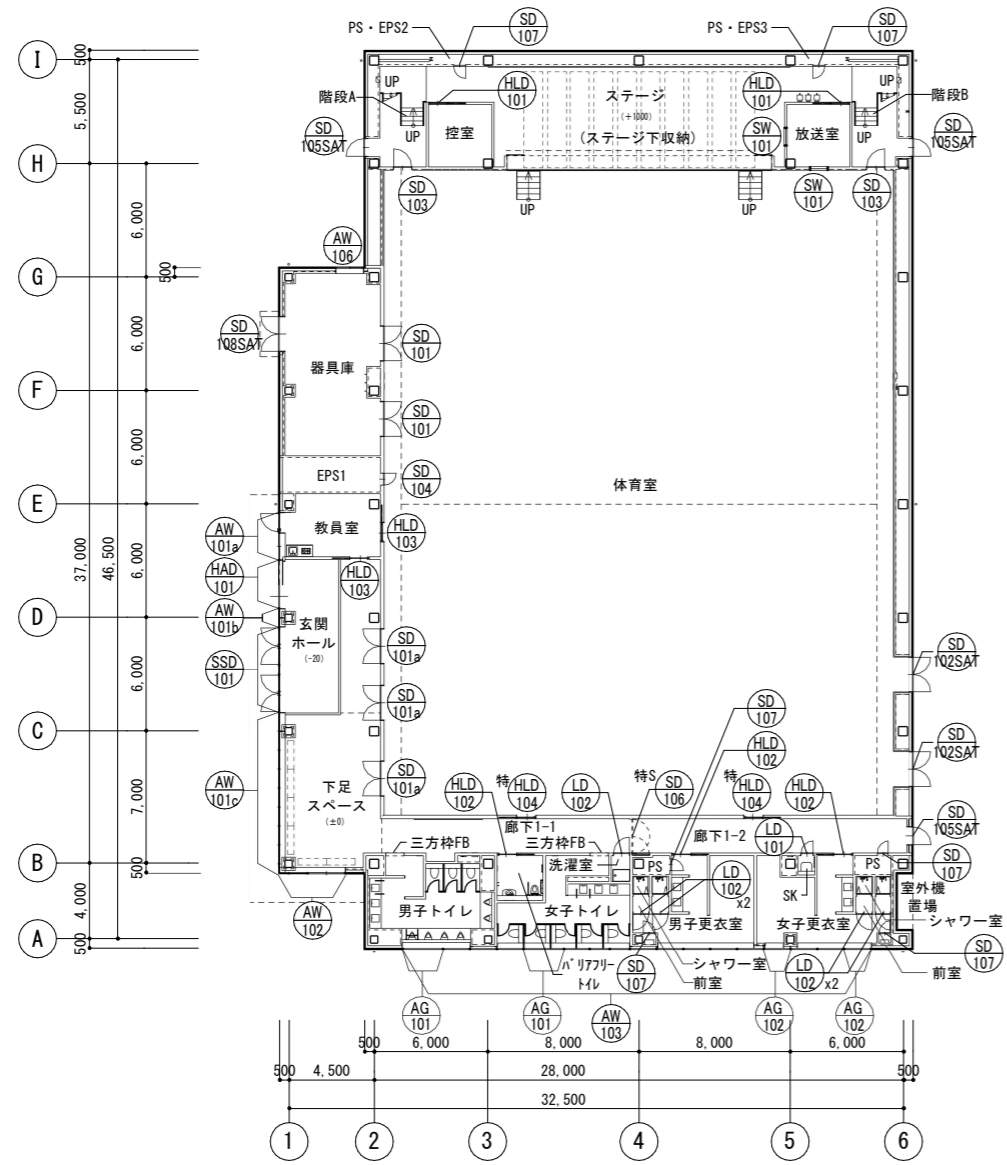


公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事 (第3工区)	図面番号 A062
		一級建築士 No.272847 石井 康彦	一級建築士 No.248486 構造設計一級建築士 No.4009 木下 隆嗣	

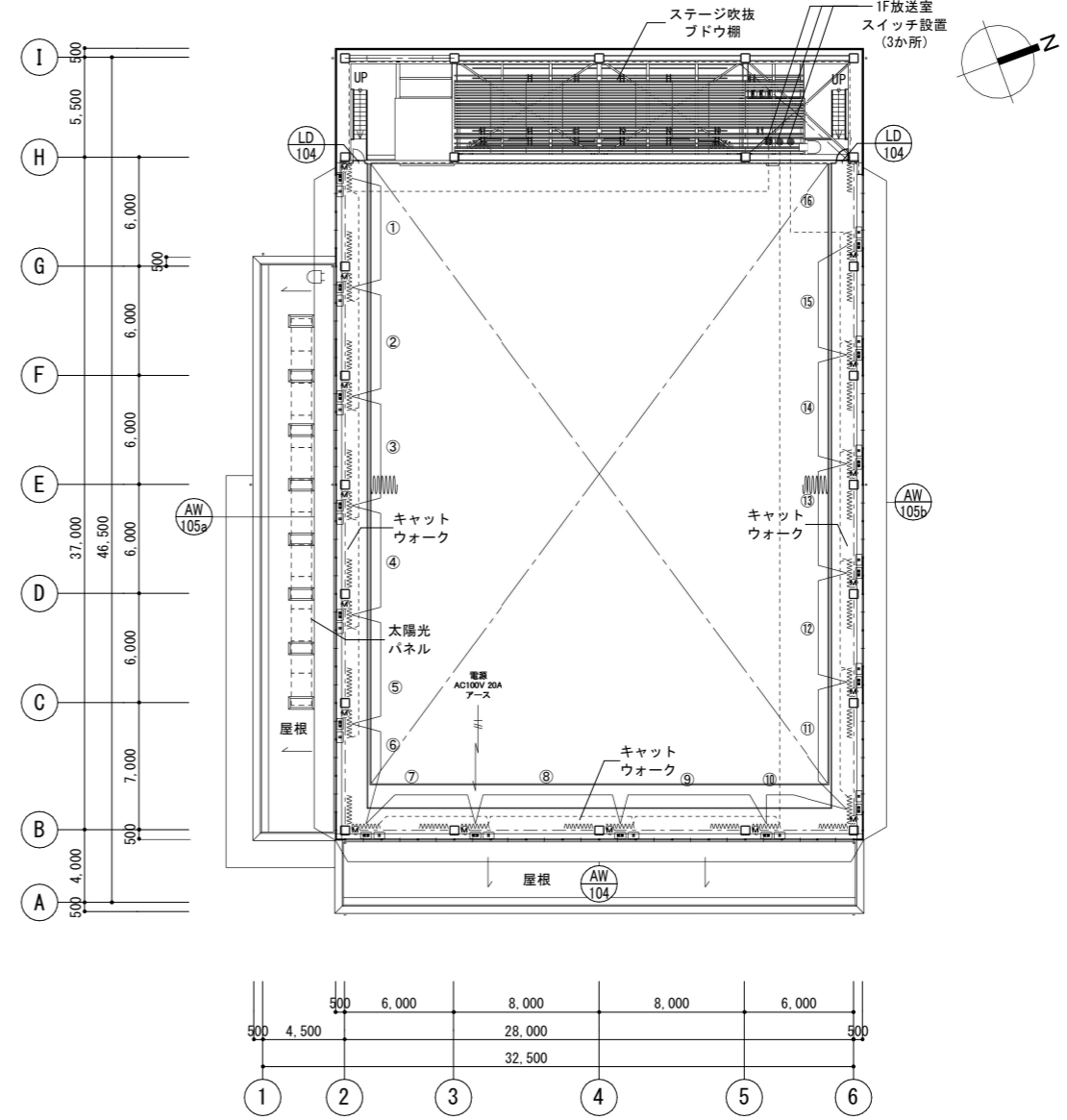




<p>凡例</p> <p>バックボードの範囲を示す(バックボード:ウレタンボードt35+ケイカル板t6+EP、ガラス:P8)</p> <p>防火設備の範囲を示す</p> <p>視線制御フィルム張の範囲を示す</p>	<p>アルミガラリ</p>	<p>公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課</p>	<p>株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS &amp; ENGINEERS, INC.</p>	<p>設計番号 20240631-3 一級建築士 No.272847 石井 康彦</p>	<p>一級建築士 No.248486 構造設計一級建築士 No.4009 木下 隆嗣</p>	<p>一級建築士 No.334956 設備設計一級建築士 No.4756 工藤 征志</p>	<p>工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 【実習工場・実験室棟】建具表 その2 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200</p>	<p>図面番号 A064</p>
---	---------------	---	---	--	--	--	--	----------------------



1階建具伏図

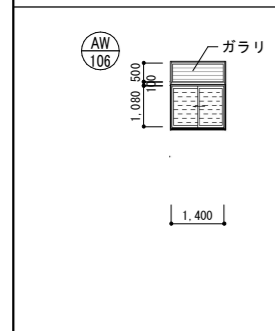
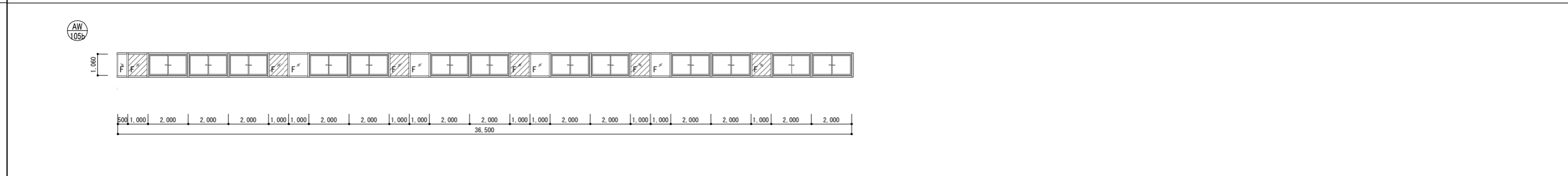
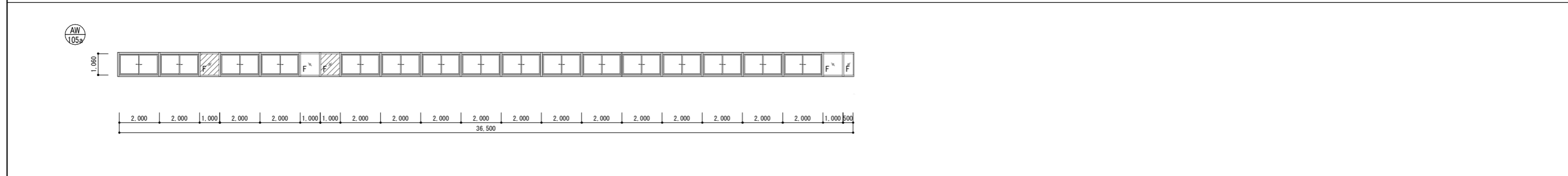
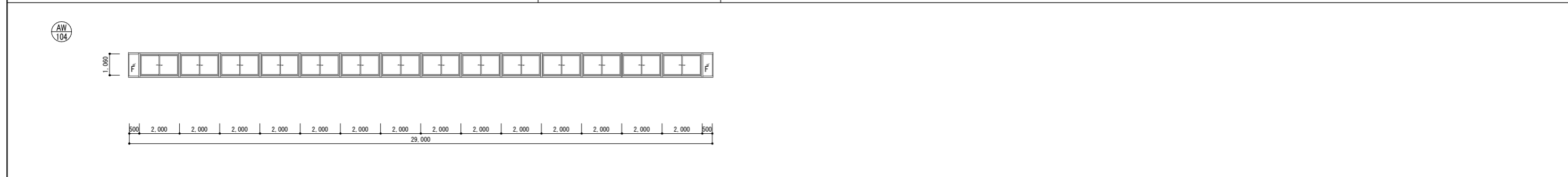
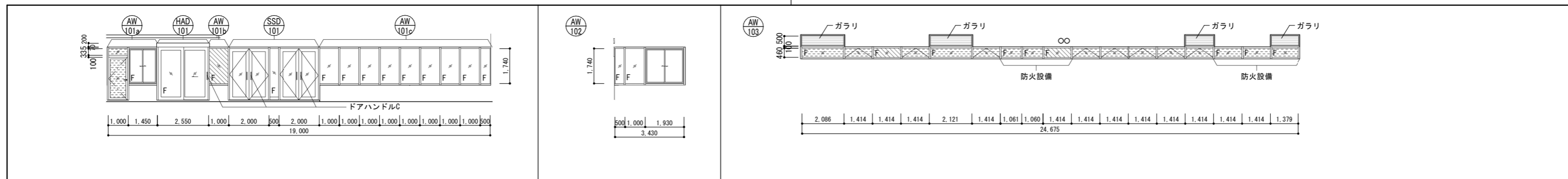


キャットウォーク階建具伏図

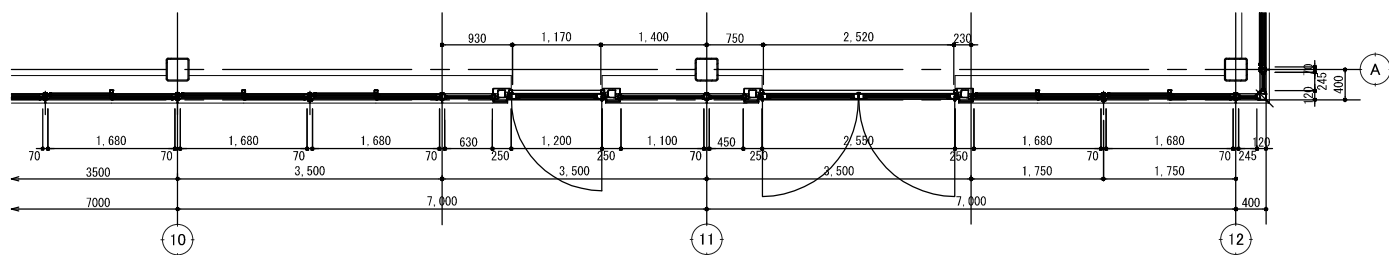
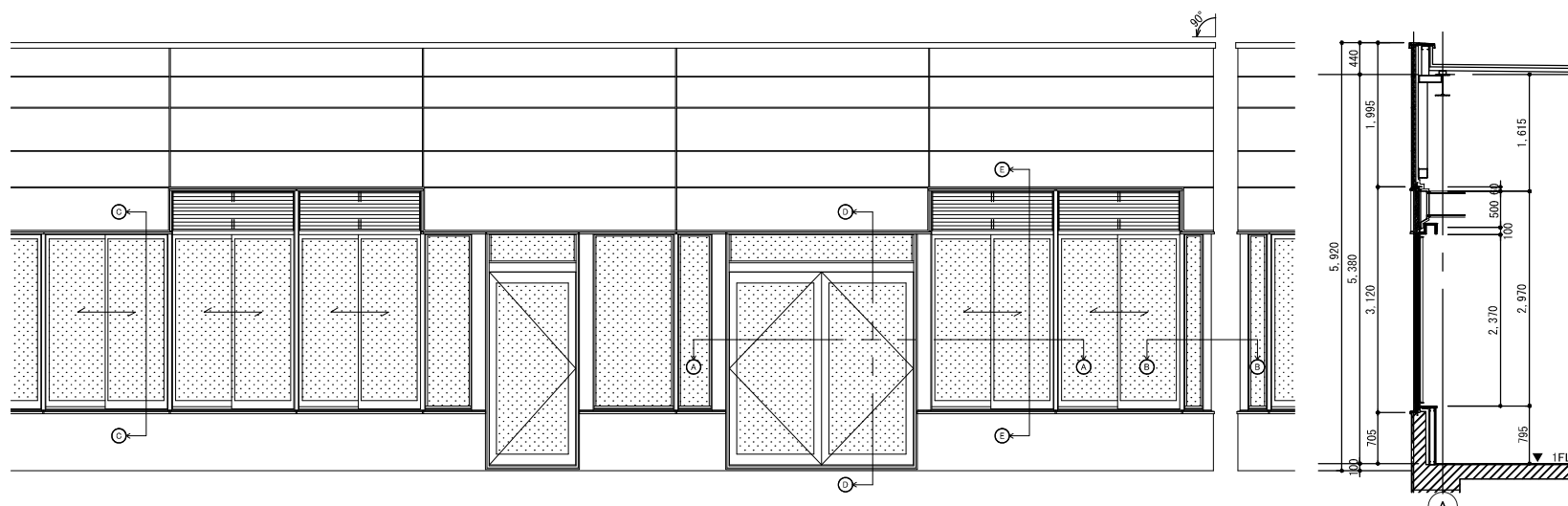
■電動暗幕カーテン配線凡例

	モジュラプレート コンセントプレート
	電動カーテンレール
	AC100V 20A・アース
	WF1.6φ×3芯 (アース付)
	CPEV φ0.65mm×4芯
	スイッチ
①~⑯	電動暗幕カーテンの割付

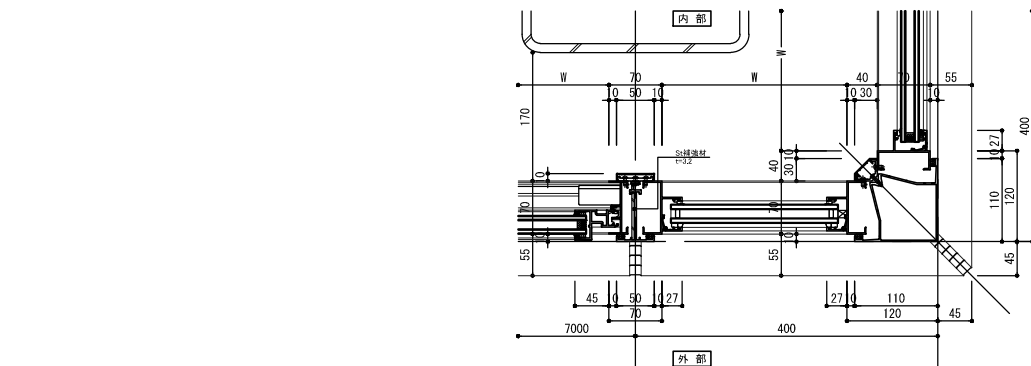
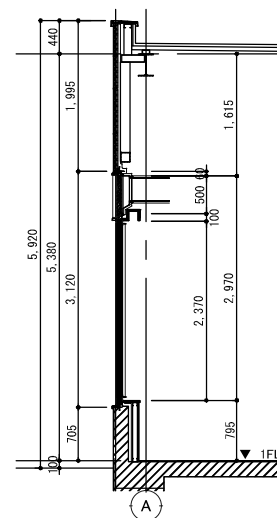




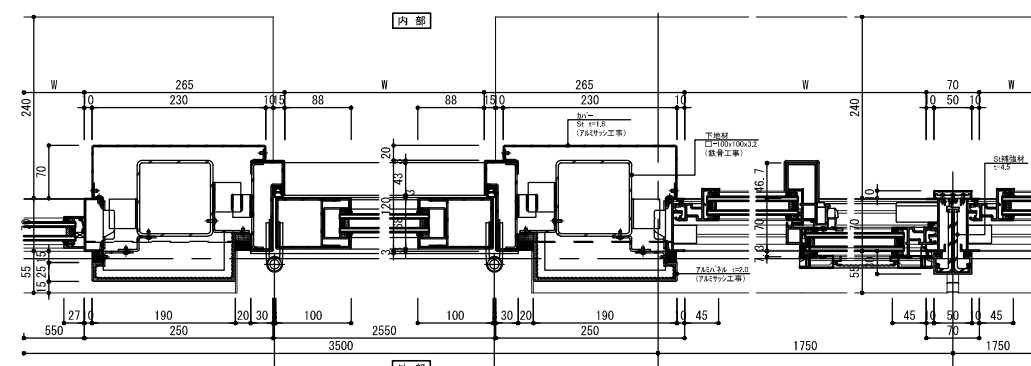
<b>凡例</b> バックボードの範囲を示す(バックボード:ウレタンボードt35+ケイカル板t6+EP、ガラス:P8) アルミ断熱パネルの範囲を示す 視線制御フィルム張の範囲を示す	公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3	一級建築士 No.272847 石井 康彦	一級建築士 No.248486 構造設計一級建築士 No.4009 木下 隆嗣	一級建築士 No.334956 設備設計一級建築士 No.4756 工藤 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 【体育館】建具表 その2	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 A067
	図面名称 【体育館】建具表 その2								



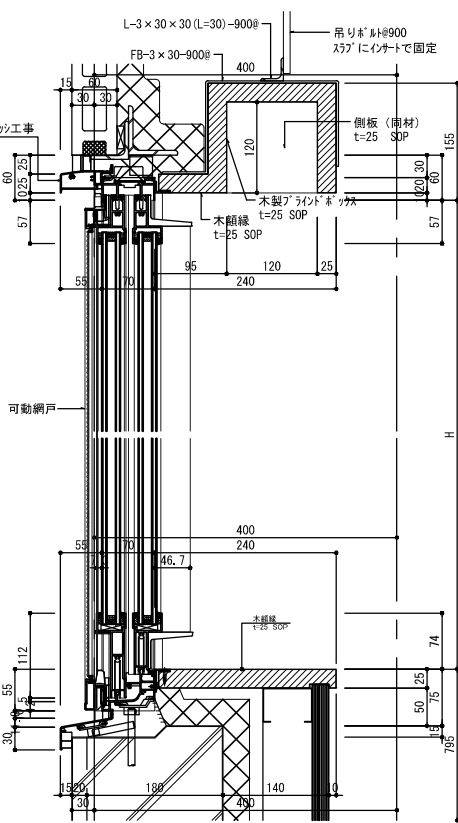
外觀姿図 1/50



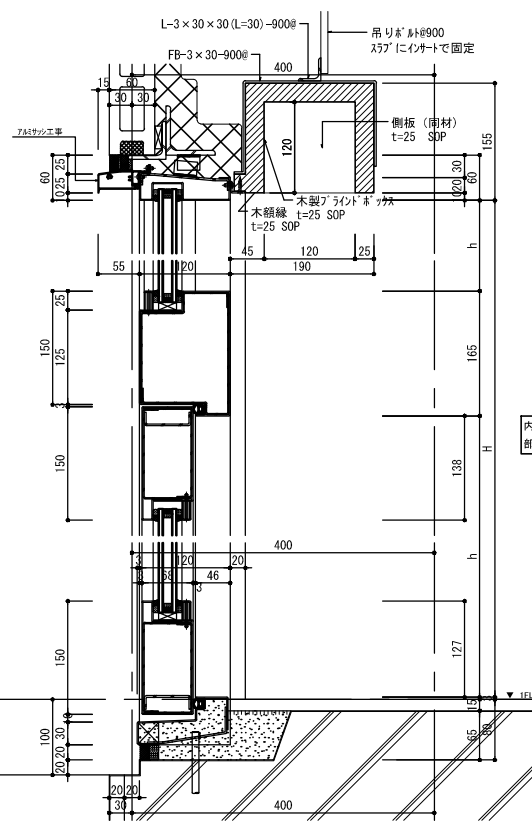
B-B 断面詳細図 1/5



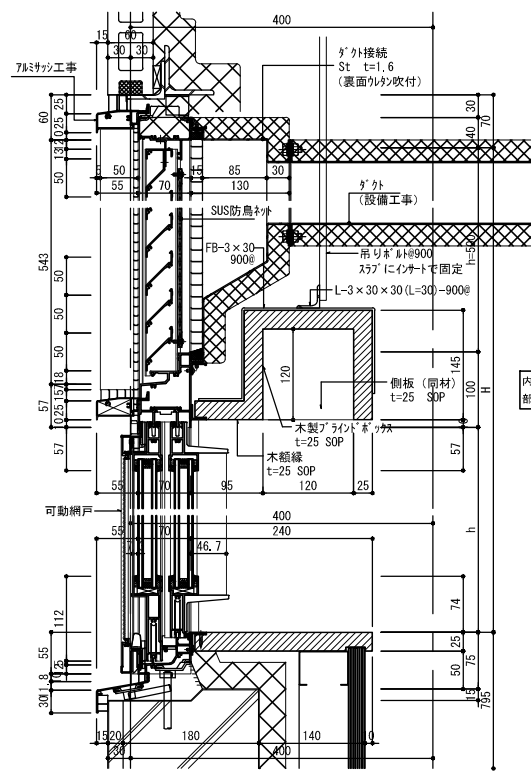
A-A 断面詳細図 1/5



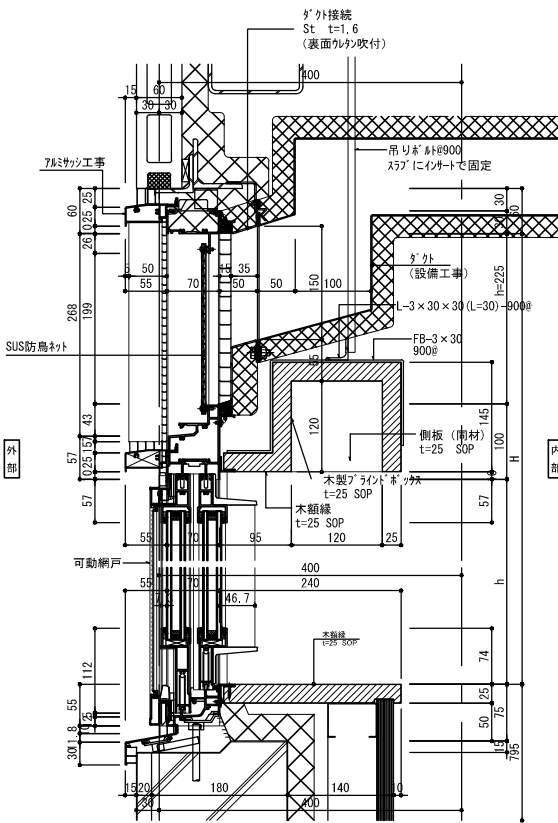
C-C 断面詳細図 1/5



D-D 断面詳細図 1/5

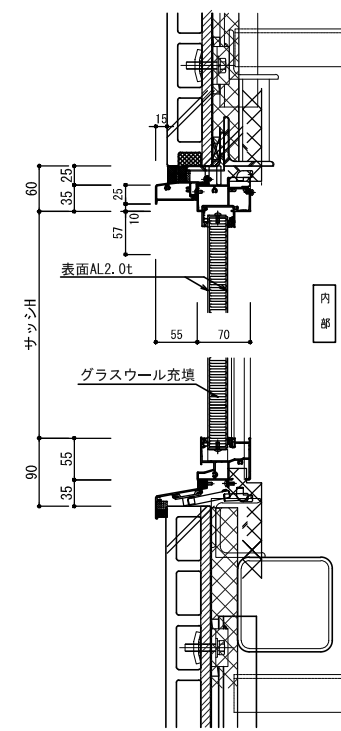


E-E 断面詳細図 1/5  
(引違い上部ガラリ案)

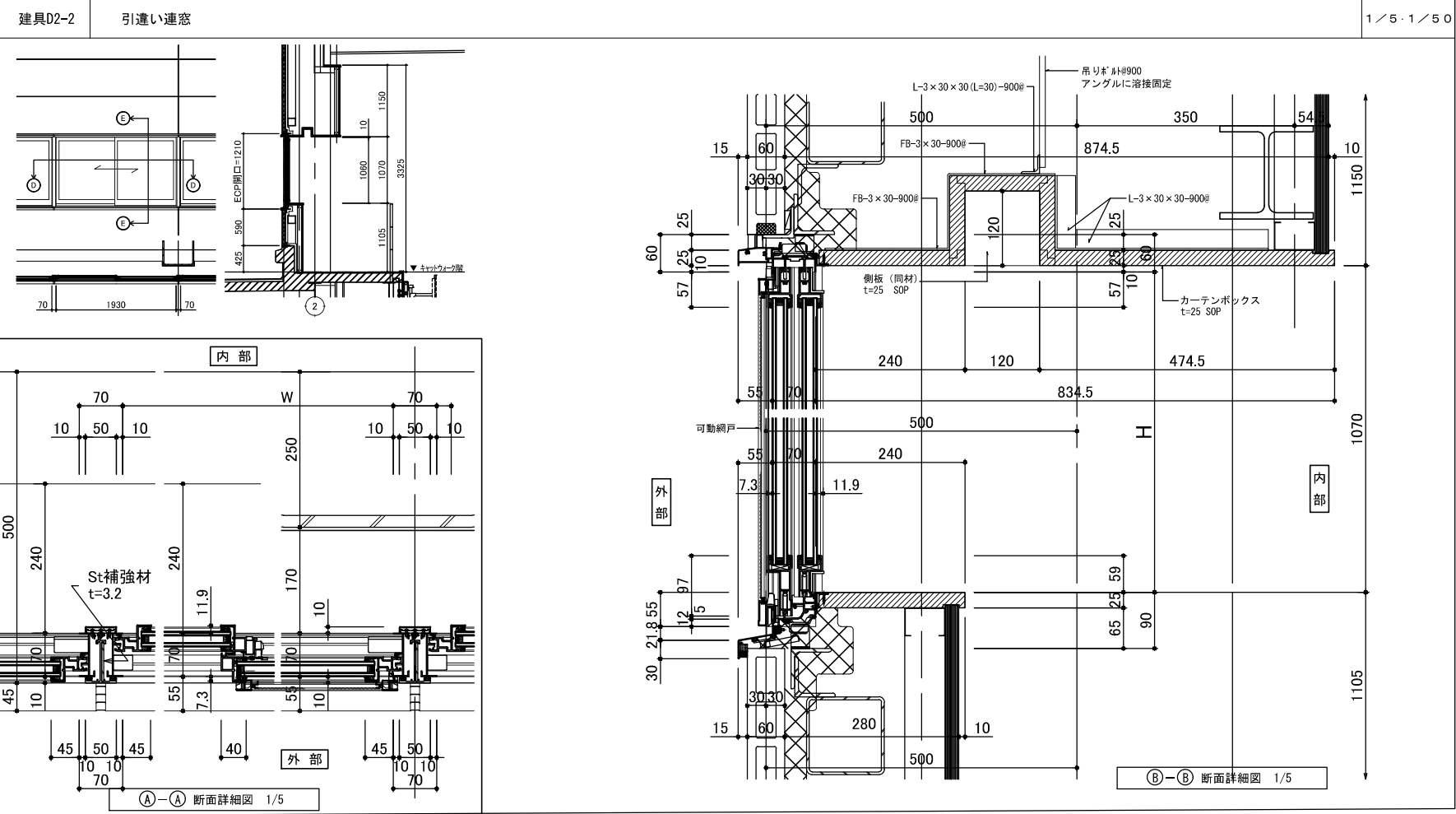
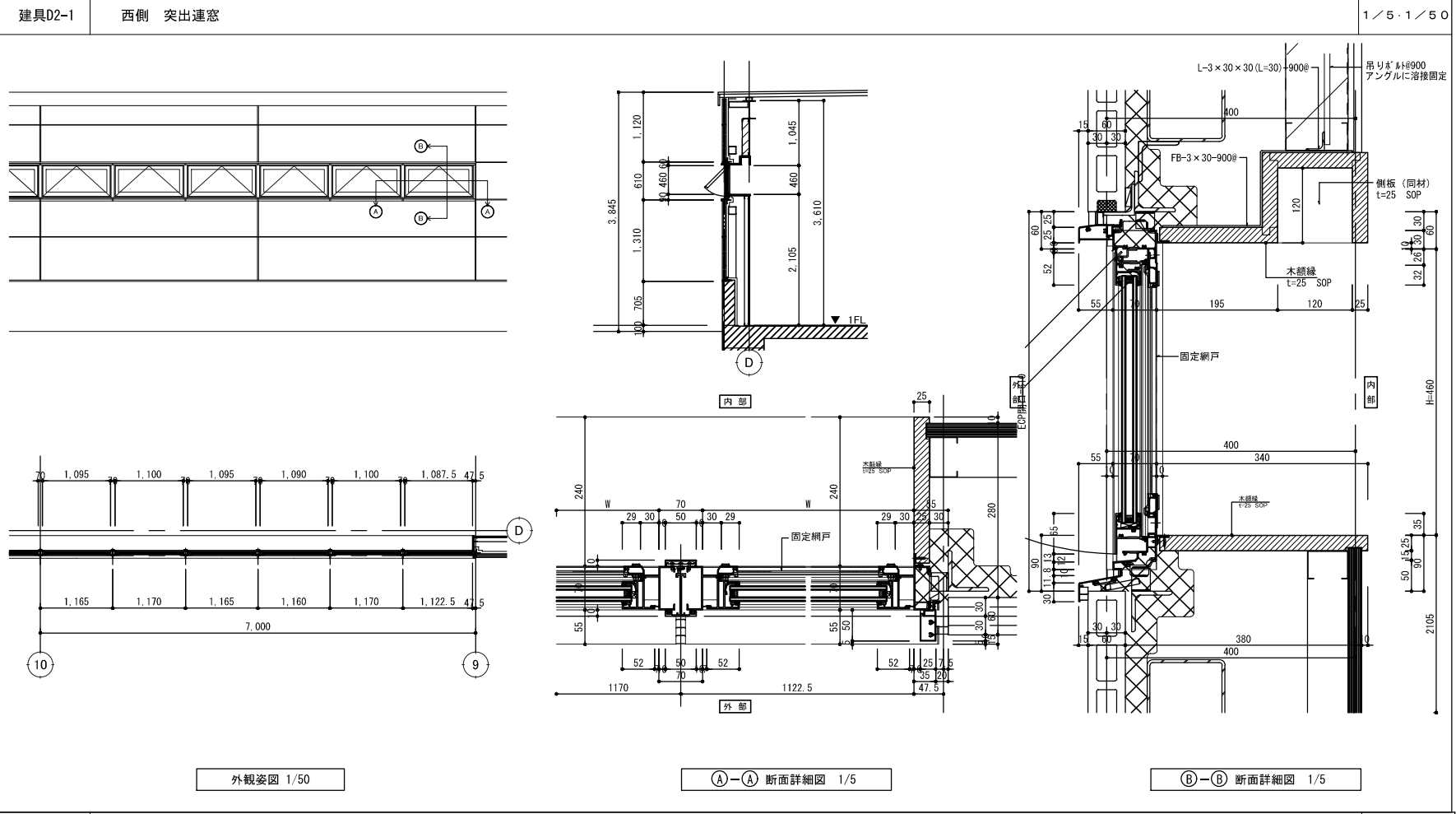


E-E 断面詳細図 1/5  
(引違い上部スリット案)

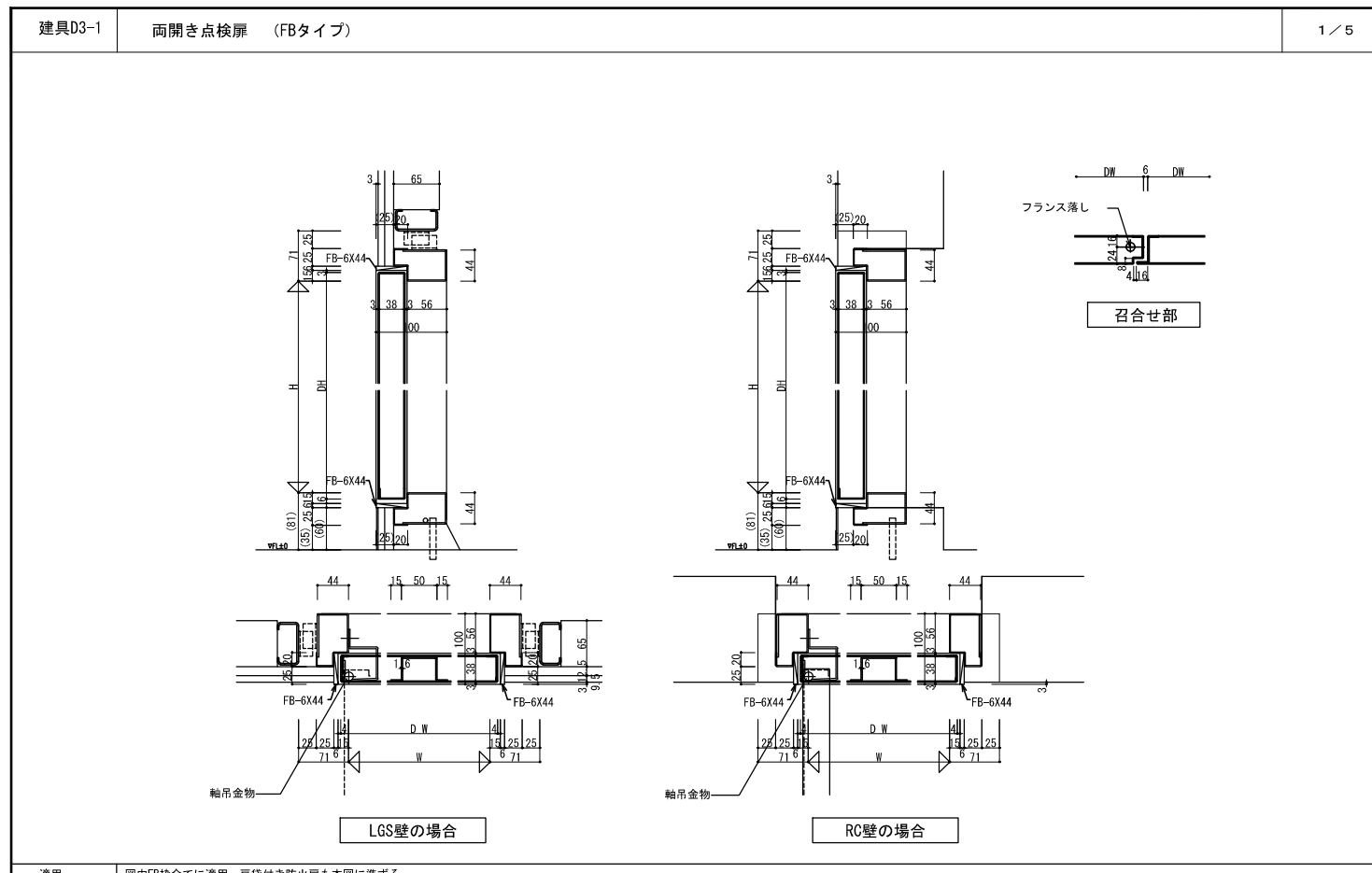
アルミ断熱パネル



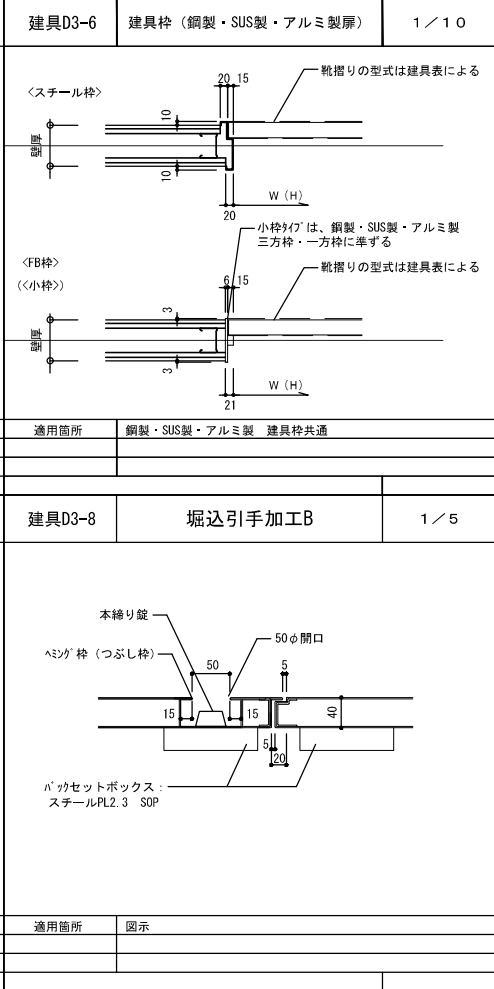
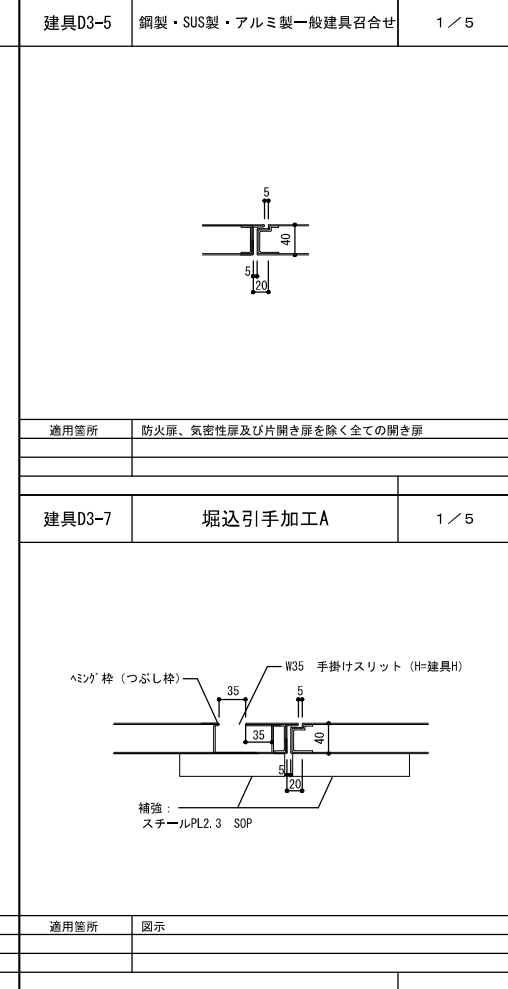
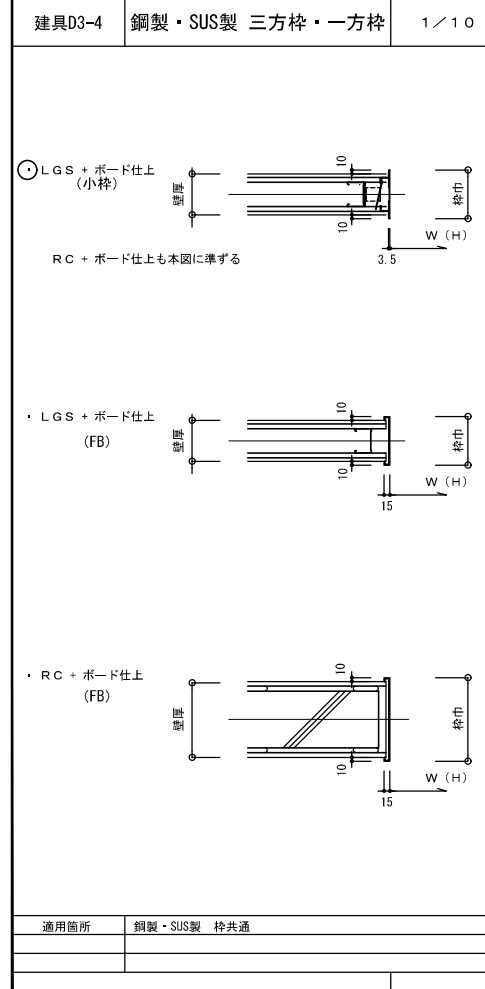
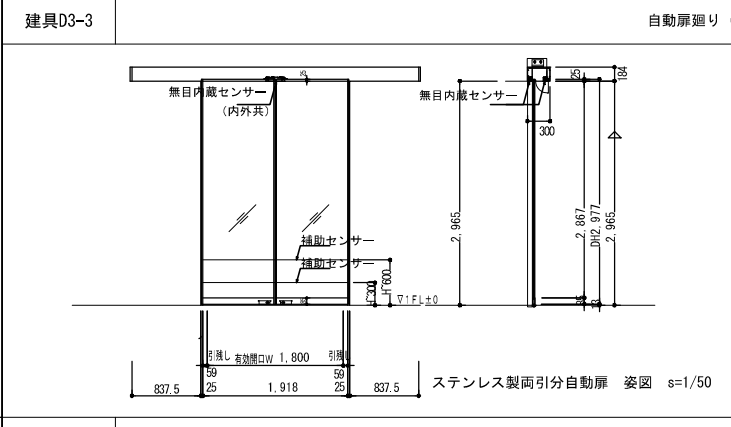
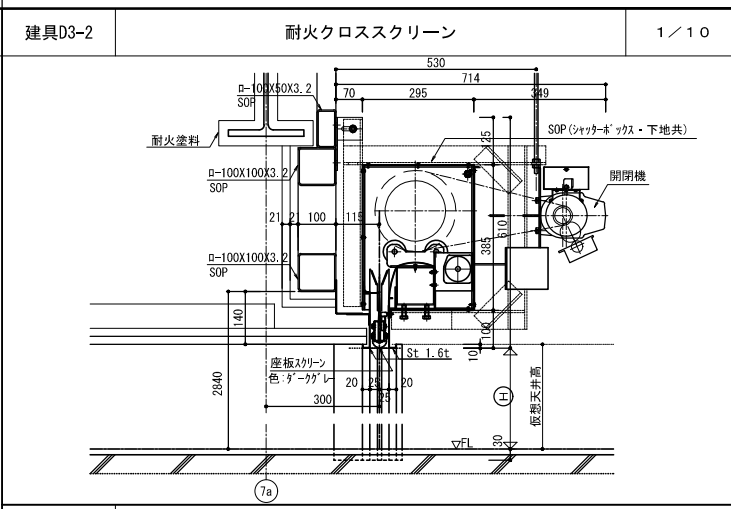
公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3	一級建築士 No.248486	一級建築士 No.334956	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区)	図面番号 A068
		石井 康彦 木下 隆嗣 工藤 征志	一級建築士 No.4009 構造設計一級建築士 No.4756	一級建築士 No.334956 設備設計一級建築士 No.4756	図面名称 建具詳細図 その1 縮尺 A1: - A3: -	



公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3 一級建築士 NO.272847 石井 康彦	一級建築士 NO.248486 構造設計一級建築士 NO.4009 木下 隆嗣	一級建築士 NO.334956 設備設計一級建築士 NO.4756 工藤 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 建具詳細図 その2 縮尺 A1: - A3: -	図面番号 A069
-----------------------------------	---	--	---	---	--	--------------



適用 図中FB枠全てに適用。戸袋付き防火扉も本図に準ずる  
 FB枠 FBは糸面取りとする  
 枠仕上 特記なければA-B仕上とする



**建具D3-9 ブラインド・暗幕カーテンリスト**

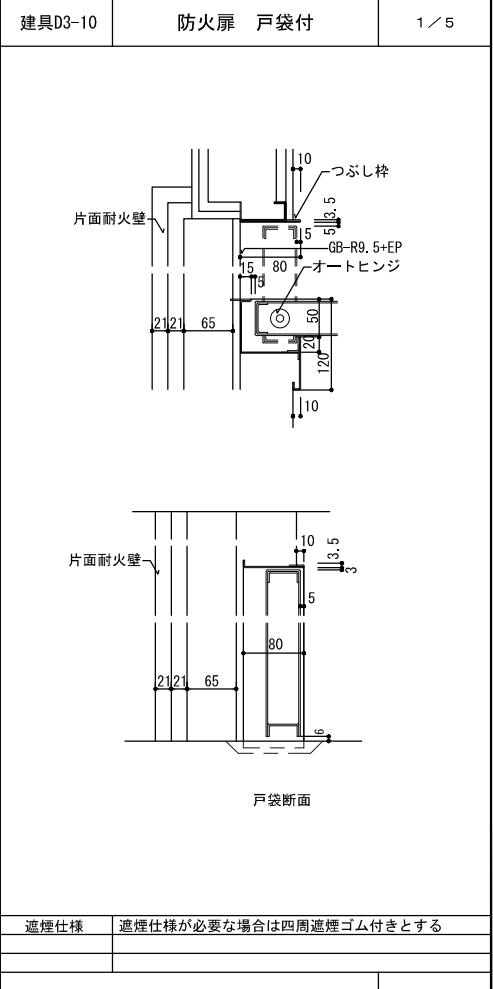
階	ブラインド				暗幕カーテン			
	W	H	W	H	W	H	W	H
1階	2,600	1,400	5,100	6,100	1,200	1,200		
2階	1,840	1,780	660	660	2,400	1,800		
3階								
4階								
5階								
6階								
7階								
8階								
9階								
10階								
11階								
12階								
13階								
14階								
15階								
16階								
17階								
18階								
19階								
20階								
21階								
22階								
23階								
24階								
25階								
26階								
27階								
28階								
29階								
30階								
31階								
32階								
33階								
34階								
35階								
36階								
37階								
38階								
39階								
40階								
41階								
42階								
43階								
44階								
45階								
46階								
47階								
48階								
49階								
50階								

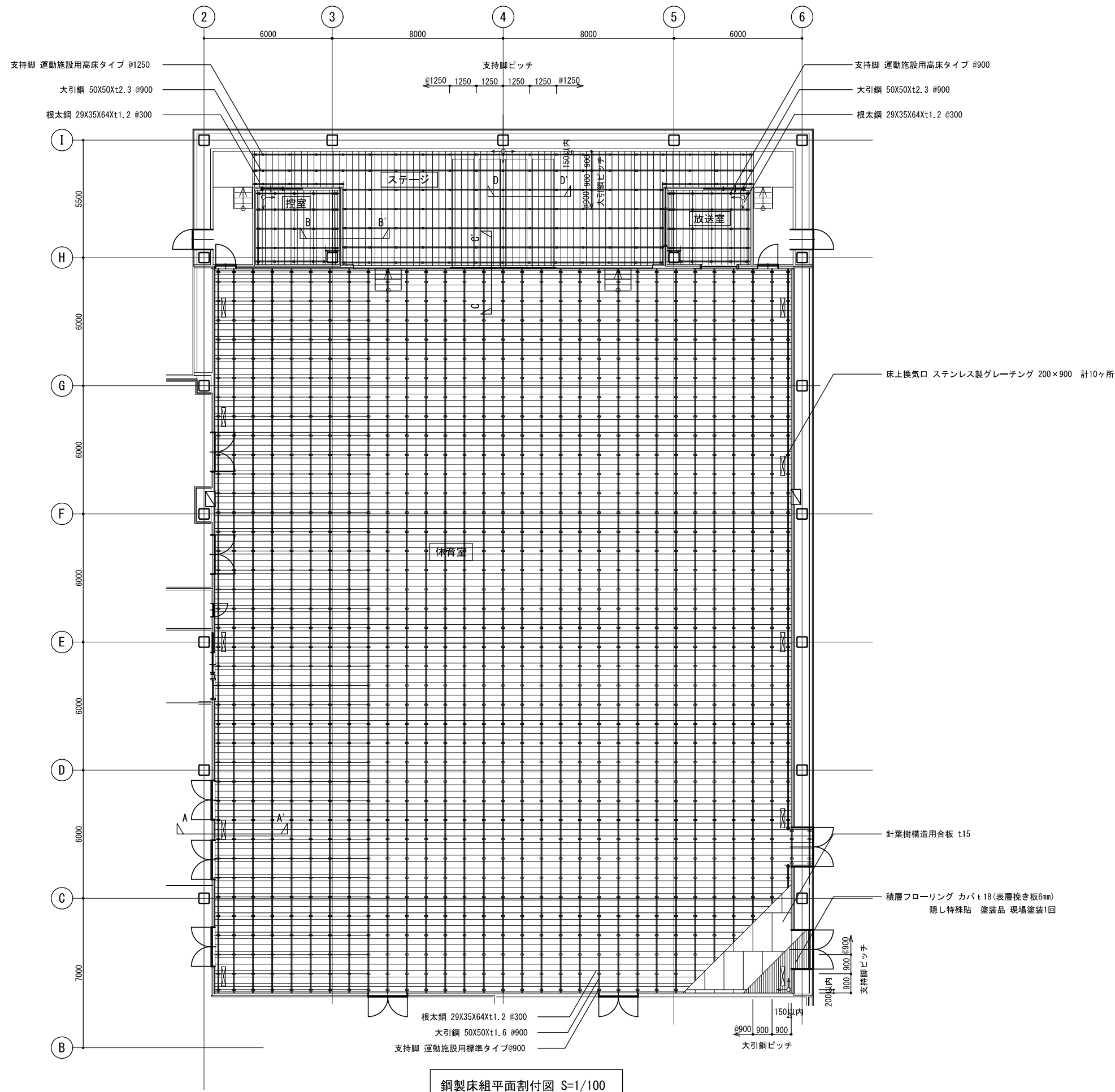
**電動暗幕カーテンレール仕様**

定格電圧	AC100~240V±10% 50/60Hz
使用温度	0°C~50°C (結露なきこと)
消費電力	40W
待機電力	0.5W以下
開閉速度	7~12m/分 (6段階で設定可能)
定格時間	3分
モーター部重量	1.3kg

**工事区分表**

項目	建築工事	電気工事
製品本体取り付け及び結線工事	○	
スイッチ取り付け及び結線工事	○	
モジュラプレート設置	○	
コンセントプレート設置	○	
電源供給 配線工事		○
電源線の配線工事	○	
信号線の配線工事	○	
スイッチ線の配線工事	○	
スイッチ裏ボックス設置	○	
スイッチ取り付け用穴明け工事	○	
モジュラプレート取り付け用穴明け工事	○	
コンセントプレート取り付け用穴明け工事	○	
電源線・信号線・スイッチ線 配管工事	○	





鋼製床組平面割付図 S=1/100

室名	放送室・控室	H=1000
仕上げ	タイルカーペット t 6.5	
捨張	針葉樹構造用合板 t12	
根太鋼	29X35X64Xt1.2 @300	
大引鋼	50X50Xt2.3 @900	
支持脚	運動施設用高床タイプ@900	

室名	ステージ	H=1000
仕上げ	積層フローリング カバ t 18 (表層挽き板6mm)	
捨張	針葉樹構造用合板 t15	
根太鋼	29X35X64Xt1.2 @300	
大引鋼	50X50Xt2.3@900	
支持脚	運動施設用高床タイプ @1250	

室名	体育室	H=300
仕上げ	積層フローリング カバ t 18 (表層挽き板6mm)	
捨張	針葉樹構造用合板 t15	
根太鋼	29X35X64Xt1.2 @300	
大引鋼	50X50Xt1.6 @900	
支持脚	運動施設用標準タイプ@900	

公立大学法人 滋賀県立大学  
高専開設準備局 総務・施設整備課



株式会社 東畑建築事務所  
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号  
20240631-3  
一級建築士 NO.272847  
石井 康彦

一級建築士 NO.248486  
構造設計一級建築士 NO.4009  
木下 隆嗣

一級建築士 NO.334956  
設備設計一級建築士 NO.4756  
工藤 征志

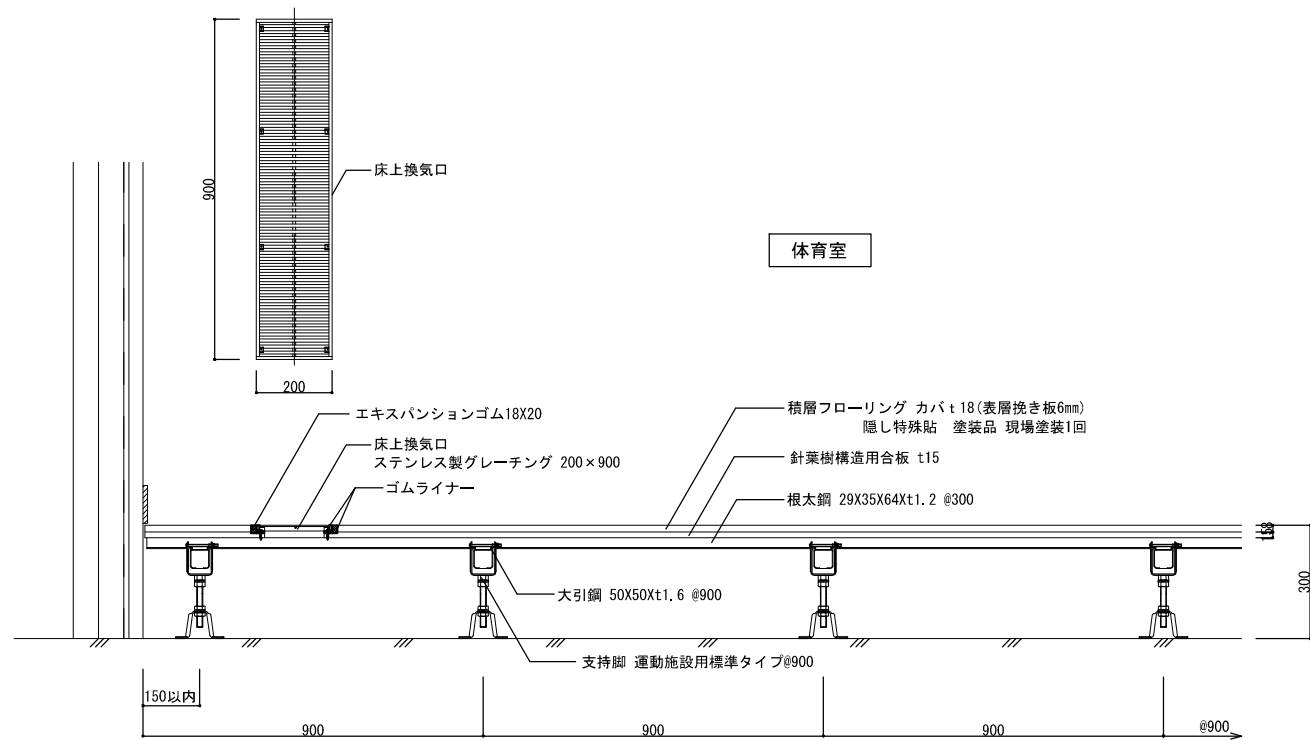
工事名称 滋賀県立高等専門学校  
新築工事 (第3工区)

図面名称  
鋼製床組詳細図 その1

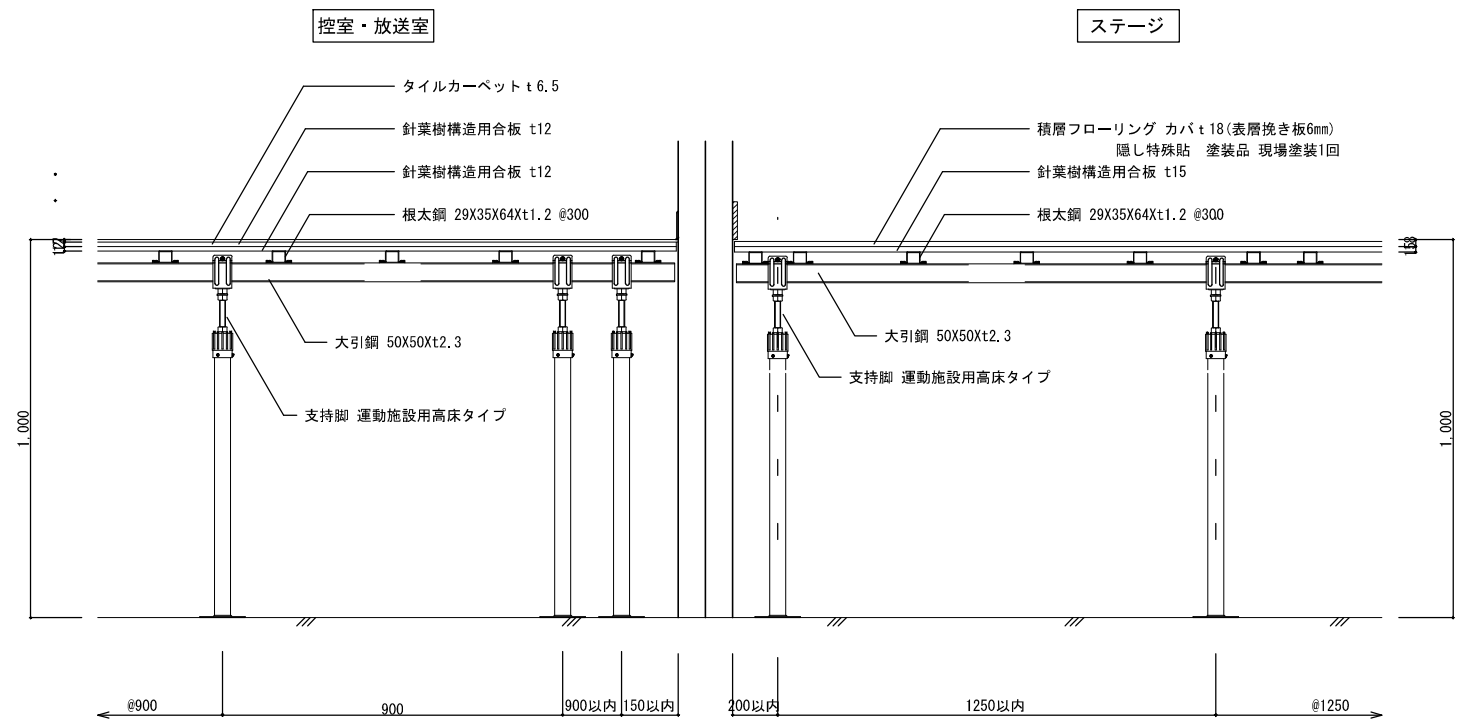
縮尺 A1: 1/100  
A3: 1/200

図面番号

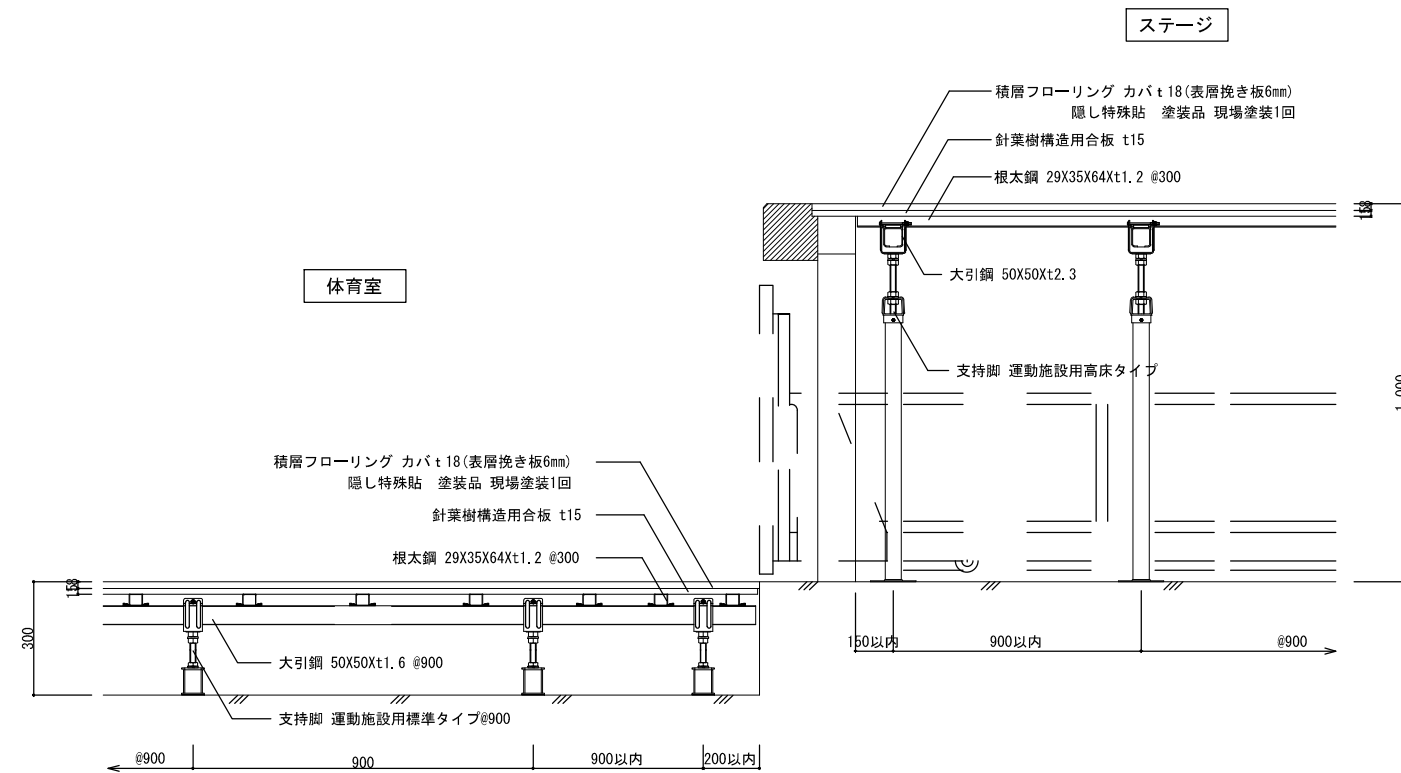
A071



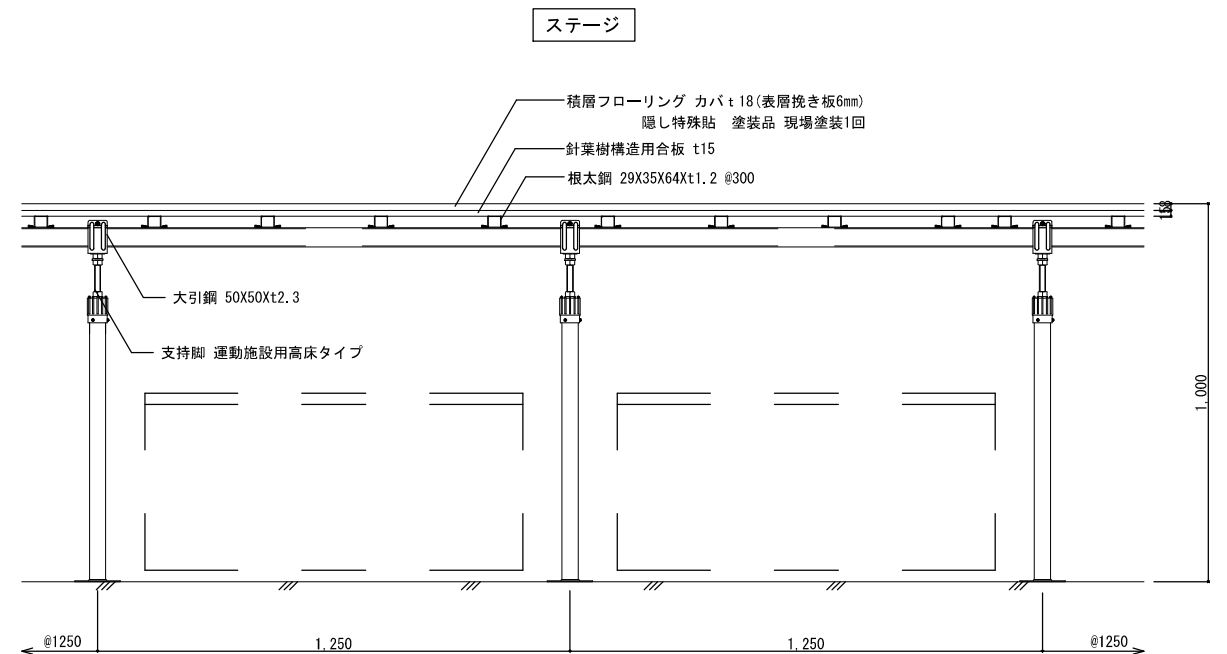
A-A' 断面図 S=1/10



B-B' 断面図 S=1/10

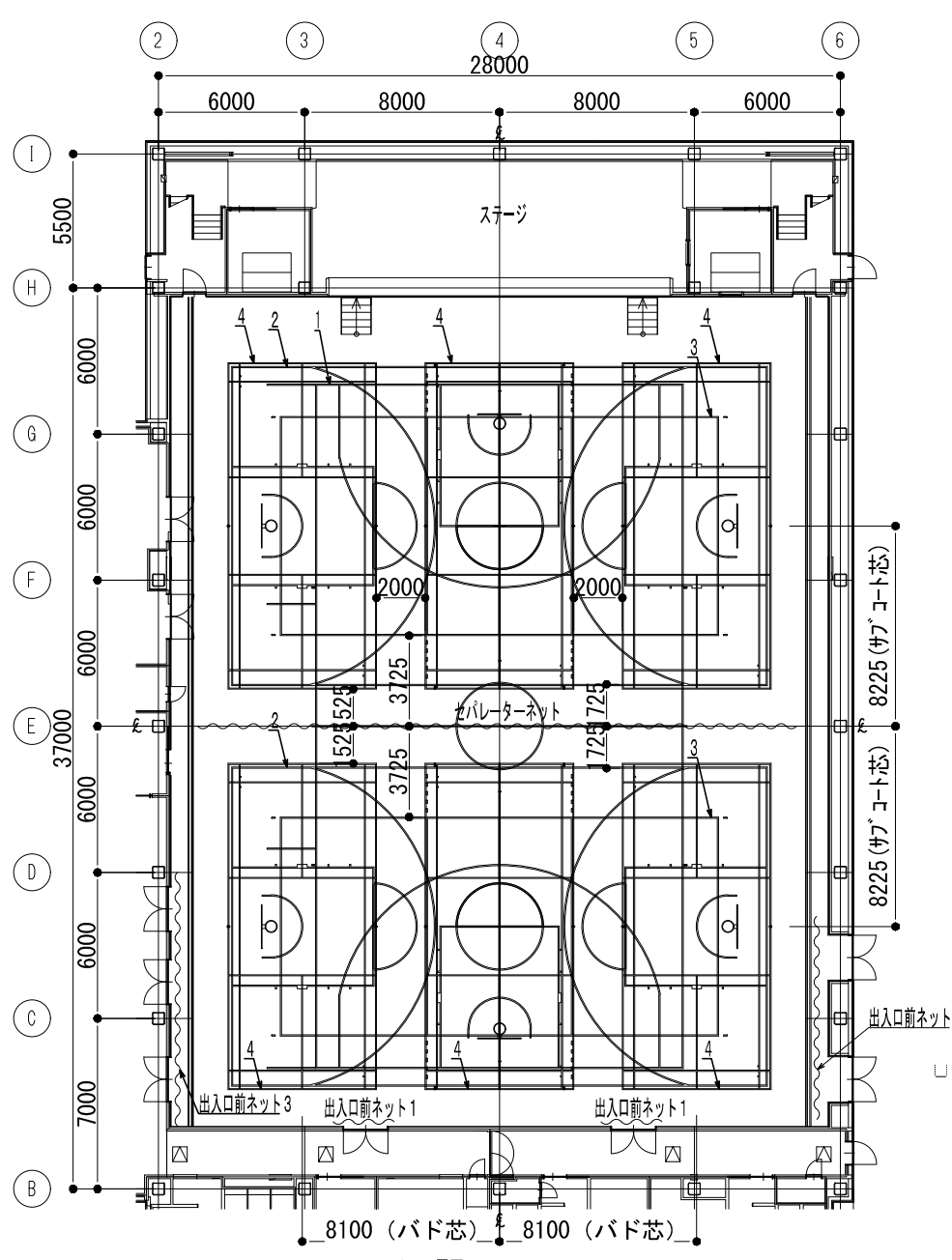


C-C' 断面図 S=1/10



D-D' 断面図 S=1/10

公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3	一級建築士 No.248486 構造設計一級建築士 No.4009	一級建築士 No.334956 設備設計一級建築士 No.4756	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区)	図面番号 A072  縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20
		石井 康彦	木下 隆嗣	工藤 征志	図面名称 鋼製床組詳細図 その2	

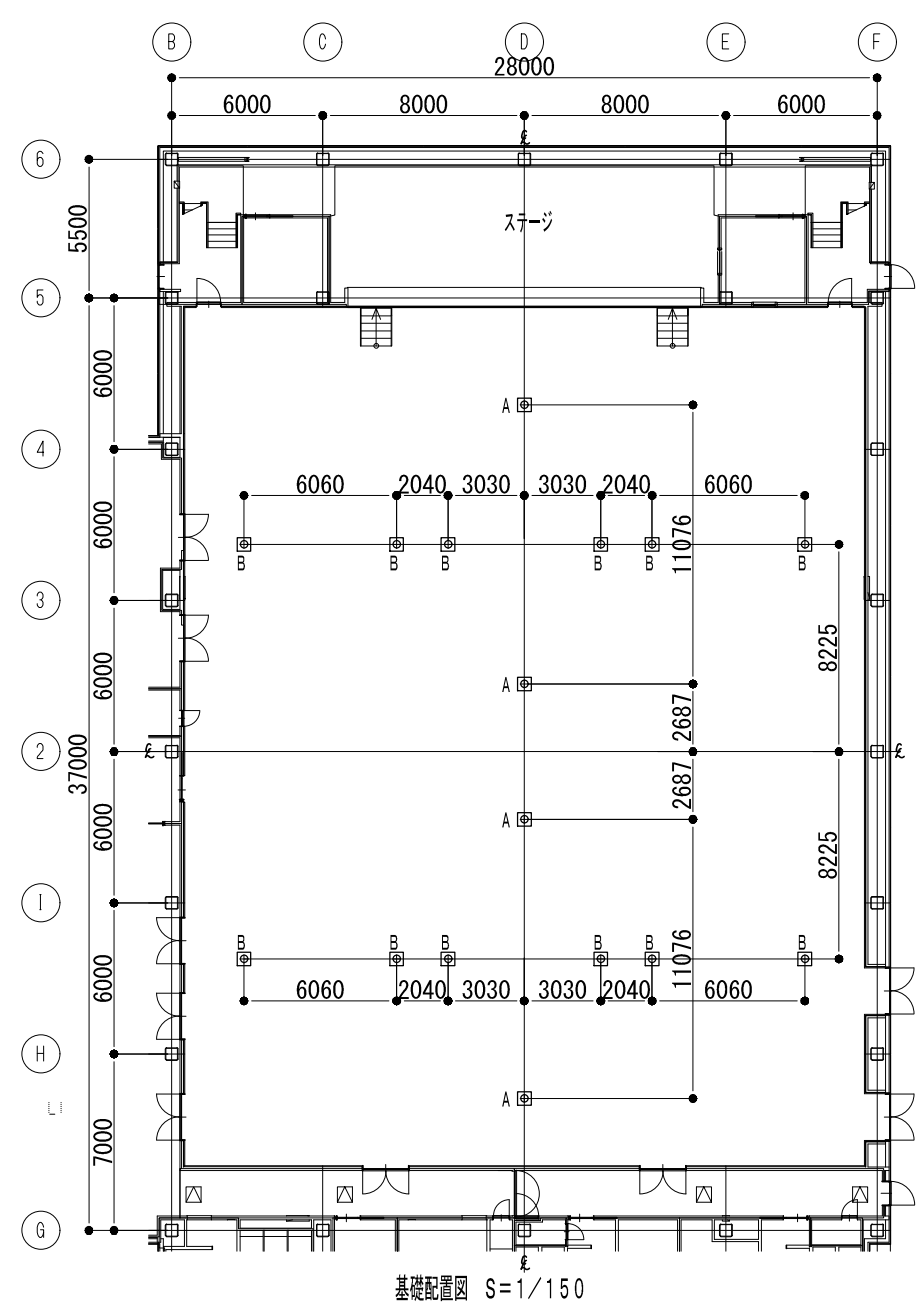


コートライン配置図 S=1/150

記号	種別	コートサイズ	ライン	ライン幅	面数
1	メインバスケットボールコート	28000×15000	実線	50mm	1面
2	サブバスケットボールコート	21900×13000	実線	50mm	2面
3	サブバレーボールコート(6人制)	18000×9000	実線	50mm	2面
4	バドミントンコート	13400×6100	実線	40mm	6面

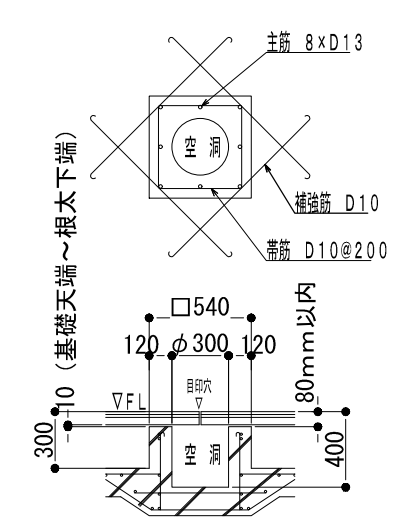
※各コートラインの色と優先順位は協議の上決定とする事。  
 ※サブバレーボール(6人制)はアタックライン延長破線を画線とする事。  
 ●注記  
 1) バスケットコートのみライン内側がコート寸法とする。左記以外はライン外側がコート寸法とする。

種別	仕様	数量
バレーボール支柱	セノー「DE130000」又は同等品以上	2対
バレーボールネット	セノー「DE820200」又は同等品以上	2張
バドミントン支柱	セノー「DG012100」又は同等品以上	6対
バドミントンネット	セノー「DG811000」又は同等品以上	6張

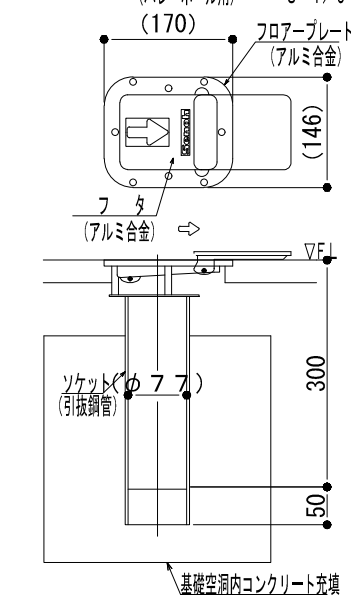


基礎配置図 S=1/150

記号	種別	数量
A	バレーボール用基礎	4個
B	バドミントン用基礎	12個
合計		16個



床金具AS型φ76用  
 セノー「KD014000」又は同等品以上  
 (バレーボール用) S=1/5



床金具AS型φ40用  
 セノー「KD054000」又は同等品以上  
 (バドミントン用) S=1/5

